

《研究課題名》

当院における排尿ケアチームの介入効果に関する検討

《研究対象者》

2020年10月1日から2025年12月31日の間に本学附属病院に入院中、尿道バルンカテーテル抜去後に発症した下部尿路機能障害の回復のために排尿ケアチームが介入した患者様

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究課題名》

当院における排尿ケアチームの介入効果に関する検討

《研究期間》

滋賀医科大学学長許可日～2029年3月31日

《研究責任者》

滋賀医科大学 泌尿器科 助教 窪田 成寿

(2) 研究の意義、目的について

《意義》

重度の頻尿や尿失禁、排尿困難などの排尿障害は患者さんの生活の質(QOL)を大きく低下させます。これらの排尿障害の原因は多岐に渡り、泌尿器科疾患だけでなく、加齢や内科疾患、外科手術によっても生じます。排尿障害に対する長期の尿道カテーテル留置や失禁に対するオムツの使用などは活動の妨げとなり、筋力低下や寝たきりの原因となるほか、尿路感染や皮膚トラブルのリスクにもなります。これらを防止するために、尿道カテーテルを早期に抜去し、患者さんが自己で排尿管理を完結できる排尿自立へ導くことが必要とされています。当院では、泌尿器科医師、看護師、理学療法士、作業療法士の多職種で構成される排尿ケアチームを設置し、入院中に尿道バルンカテーテルを抜去された後に排尿障害を発症した患者さんに対し、排尿自立のためのケアを行っています。より効果的な排尿ケアの提供を行うために、チーム介入による効果を検証する必要があります。

《目的》

本研究では、当院において入院中に排尿ケアチームによる介入を行なった症例を対象とし、患者背景や介入前後の排尿自立度や排尿機能を含めた臨床情報を解析することで、チームによる介入効果を検討することを目的としています。本研究の結果により、今後の排尿ケアチームの介入内容を見直し、より効果的な排尿ケアを提供することに寄与すると考えます。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

本学附属病院に入院中に尿道バルンカテーテルを留置され、抜去後に下部尿路機能障害を発症したために排尿ケアチームが介入した患者さんの基本情報（年齢、性別、既往歴、主疾患、手術歴、服薬歴など）、排尿状態に関する各種質問表、日常生活動作(ADL)、排尿自立度や下部尿路機能（排尿記録による尿回数、排尿量、残尿量）を診療録から抽出し、排尿ケアチームの介入前後での介入による改善効果を検討します。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

基本情報：年齢、性別、主疾患、既往歴、手術歴、服薬歴

検査結果：尿検査所見、血液・生化学検査所見、認知機能評価 Mini mental State Examination (MMSE)
症状質問表 [国際前立腺症状スコア (IPSS)、過活動膀胱症状質問表 (OABSS)、尿失禁症状質問票 (ICIQ-SF)]

排尿自立度：移乗・移動、トイレ動作、収尿器の使用、おむつ使用、カテーテル使用の有無

下部尿路機能：尿意の有無、尿失禁の有無、24時間排尿回数、1回排尿量、残尿量、排尿記録

日常生活活動(ADL)：Functional Independence Measure (FIM)

包括的排尿ケア内容：薬物療法（使用薬剤）、理学療法（リハビリテーション、骨盤底筋体操の有無）、

排尿自立支援（自己導尿、尿道カテーテルの管理指導、排尿誘導、排泄用具の調整に関する指導の有無）

《試料・情報の管理について責任を有する者》

泌尿器科学講座 助教 窪田 成寿

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施するには、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

オプトアウト

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（8）にご連絡ください。

（8）本研究に関する問い合わせ先

滋賀医科大学医学部附属病院 泌尿器科 窪田 成寿

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2567（泌尿器科外来）

メールアドレス：hquro@belle.shiga-med.ac.jp